

★「ヨウ素」を「元素」としてではなく「産業材料」として理解する
★「ヨウ素」と臭素・塩素は何が違う？ ～その特徴から工業利用、先端材料への応用まで～
★「ヨウ素」は何ができる元素なのか？ ～基礎化学から製造・用途・最新技術まで～

セミナーNo.611201

Live配信
または
アーカイブ配信



初心者のための

「ヨウ素」

～その資源・製造・反応・機能から工業利用、展望まで～

●日 時:2026年11月4日(水) 13:00～15:30

●聴講料:1名につき 44,000円(消費税込み、資料付)

●会 場:Zoomを使用したLive配信セミナーです。
※アーカイブ配信は11月13日～11月23日に実施

〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき38,500円(税込)〕
〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。〕

●講師:(株)合同資源 上席アドバイザー
理学博士 技術士(化学部門)

海宝 龍夫 氏

【受賞歴】2012年 ヨウ素学会賞「機能性ヨウ素化合物の開発」
【公職】 千葉大学 客員研究員
ヨウ素学会会長 / 世界ヨウ素協会・国際諮問委員会委員
【出版物】「トコトンやさしいヨウ素の本」2015年6月発行 日刊工業新聞社版
「Iodine Made Simple」2017年7月発行 CRC社版 他多数

【講座の趣旨】

ヨウ素は消毒剤や医薬品だけでなく、化学合成、機能性材料、光学材料、電子材料、エネルギーデバイスなど極めて幅広い産業を支える重要元素です。近年ではペロブスカイト太陽電池やディスプレイ、蓄電池、触媒など次世代技術への応用も急速に広がり、その重要性はますます高まっています。一方で、多くの技術者にとってヨウ素は大学で体系的に学ぶ機会が少なく、「種類が多い」「何ができる元素なのか分からない」という声も少なくありません。本講座では、ヨウ素の基礎科学から製造方法、化学的特徴、主要用途、市場動向、最新研究、将来展望までを体系的に解説し、初めてヨウ素を扱う研究者・技術者でも全体像を理解できる内容とします。

1. ヨウ素とは何か

- 1.1 元素としての特徴
- 1.2他のハロゲン元素との比較
- 1.3 ヨウ素ならではの化学的特徴
- 1.4 なぜ工業的価値が高いのか

2. ヨウ素資源と製造技術

- 2.1 世界のヨウ素資源
- 2.2 日本が世界有数の産地である理由
- 2.3 天然ガスかん水からの製造
- 2.4 精製技術
- 2.5 品質管理

3. ヨウ素化学の基礎

- 3.1 ヨウ素・ヨウ化物・ヨウ化水素酸
- 3.2 酸化還元反応
- 3.3 錯体形成
- 3.4 分析方法
- 3.5 安全な取り扱い

4. 現在の工業的利用の紹介

医療、ライフサイエンス、
化学合成、高分子、触媒、電子材料、分析用途など

5. 先端材料への応用

ペロブスカイト太陽電池、各種ディスプレイ、光学材料
偏光板、半導体関連材料、電池材料

6. 今後の展望

7.「ヨウ素」について良くある質問、ケーススタディ事例

- Q1 「ヨウ素」と臭素や塩素とは何が違うのか？
Q2 日本はなぜ世界有数のヨウ素生産国なのか？
Q3 ヨウ素は将来的に枯渇する心配はないのか？
価格変動要因とは？
Q4 ヨウ素を選ぶ際のグレードや純度を選定基準は？
Q5 ヨウ素の危険性は？ 安全に取り扱うためのポイントは？
Q6 ヨウ素は金属を腐食させるのか？ 使用時に注意すべき点は？
Q7 ヨウ素は樹脂やゴムにどのような影響を与えるのか？
Q8 ヨウ素を使った分析法にはどのようなものがあるのか？
Q9 ペロブスカイト太陽電池でのヨウ素の役割は？
Q10 ディスプレイや偏光板でのヨウ素の役割は？
Q11 半導体・電子材料分野でのヨウ素の役割は？
Q12 ヨウ素は蓄電池分野で、どのような可能性があるのか？

【質疑応答】

※受講者の皆様の抱える疑問点や問題点について、セミナー開催3日前までに「事前リクエスト用紙」(請求書に同封)を御寄せ頂けましたら、講演中に対応させていただきます。

※アーカイブ配信への受講申し込みをされた方には、後日、視聴用URLおよびID・PWをお知らせします。

「ヨウ素」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

☐ Live配信 (No.611201)

開催日:11/4

☐ アーカイブ配信 (No.611254)

配信期間:11/13～11/23

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
所属部課		氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(SMS、携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります